

2023年度～式下中学校 スクールビジョン

A 目指す姿

☆目指す学校像

- 生徒が安心して通える学校
- 教職員にとって働きがいのある学校
- 保護者の皆様が通わせてよかったと思える学校
- 地域の皆様から応援していただける学校

☆目指す生徒像

自他のしあわせを実現するために、「心・技・体」を合言葉に、支え合い・高め合う生徒の育成を目指す。

- 強く一寄り添い、受け止め合う姿
- 正しく一自分の意志に基づいて自律的に行動する姿
- 明るく一なかまを想う心（＝安心＝明るさ）と意欲をもって活動する姿

☆目指す教師像

生徒の可能性を信じ、努力を認め、励まし、よりよい方向に導く教師

B 目的

全ての学びは自他のしあわせを実現するために

心（しん）＝人間性（〇〇しんの「し」）

- ① 自他共に大切に基本の心
- ② なかまを大切に優しい心
- ③ “一生懸命”をたたくあたたかい心
- ④ 周囲の人々への感謝の心

互敬心
友愛心
利他心

感謝心

目に見えない根っこを育てる

技（ぎ）＝人生に役立つ技能＝基礎・基本（きそ・きほんの「ぎ」）

- ① 時を隔てても生かせる基礎・基本の力（技能）
- ② 表現力（説明力）＝受け止め伝え合う力＝感謝のメッセージを送る力
- ③ 家庭学習力＝自学自習力

自他のしあわせ

補い合い、
認め合う関係

体（たい）＝健康＝元気（げんきの「げ」）

- ① 自他の健康と安全を重んじる学び
- ② 芸術・文化・スポーツへの感動と創造のある学び
- ③ 部活動を通じての学び
- ④ 読書を通じての学び

目に見えない力（意欲・関心・感動、やり抜く力）を育てる

C 今年度の努力点

- (1) 全員が安心して通えるよう、聴き合い・学び合いのできる学級集団を育てていく。また、自律的な行動がとれる生徒を育てるため、生徒会活動を応援していく。
- (2) 特色のある学校（学年）行事を創り上げていけるよう、生徒・教職員でアイデアを出し合い、立案・実現させる。
- (3) 生徒の疑問にこたえる授業づくりに努め、学ぶ力を育み、予習・復習の習慣化を進める。
- (4) 自他への尊敬と感謝を忘れず、「いのち・愛・人権」を重んじる生徒を育てていく。
- (5) 教育相談（二者面談等）を通して、生徒・保護者との信頼関係を築き、悩みや不安を受け止め、善い方向に導く指導に取り組む。
- (6) ホームページや通信等による広報活動や啓発活動に協働して取り組む。
- (7) 係・当番活動、委員会活動を通して、個々の生徒の自発性を伸ばし、役割意識と責任感の強い生徒を育てる。
- (8) 「人権教育研究指定校事業」「リーディングDX事業」を活用しての授業づくり研修等を通して、授業の改善工夫に取り組む。
- (9) 通級指導教室開設にあたり、個別指導に向け、教材づくり等を協力して行い、初年度の運営を進めていく。
- (10) 会議時間の短縮に努め、その分、授業づくりや生徒理解に取り組めるよう業務改善を行う。

D 授業（教科・特活・総合）

- ① 分かりやすくきめ細やかな授業、そして、得意になる授業を目指して添削、コメント、助言等を励行します。
- ② タブレットPCやデジタル教材、視聴覚機器を積極的に活用し、生徒の疑問に丁寧にこたえる分かりやすい授業、「できた！」を実感できる授業を工夫し、「技としての学力」を育てます。

* 技としての学力＝時を隔てても、生かせる基礎・基本の力のことを言います。

- ③ 少人数授業編制によるきめ細やかな指導や補充学習のあり方を工夫し、効果の検証を行います。
- ④ 生徒のやる気を引き出す評価のあり方について互いに学び合います。
- ⑤ 総合的な学習の時間では、主に、下記のテーマについて取り組みます。

1年 ふるさと学習（校外学習）

- キャリア教育
- ボランティア活動
- 健康安全教育

2年 社会見学

- 過去・現在・未来をつなぐ学習（反戦平和学習）
- キャリア教育
- 職場体験学習
- 健康安全教育

3年 過去・現在・未来をつなぐ学習（修学旅行）

- 読み聞かせ体験・保育体験
- キャリア教育
- 健康安全教育

* キャリア教育では、体育大会の75回記念大会の前に、いずれかの学年で「測量体験学習」を実施。校章をかたどり全校人文字の撮影を計画。

- ⑥ 学年に応じた進路情報を提供し、キャリアパスポートを活用したキャリア教育で目標を持てるようにします。
 - ⑦ 今の時代に必要な情報リテラシーを強化し、SNSトラブルの減少を目指します。
 - ⑧ 科学に関わる話題を提供し、科学への関心をよびおこします。
- ①～⑧に取り組むことで基礎・基本の力を育みます。

G 生徒会活動の活性化

- ① 「エルプロジェクト」を実施します。
「いのち、愛、人権」をテーマとした生徒会事業の企画・運営を通して、人権意識を高めるとともにリーダーの育成を図ります。
- ② 地域の人々との交流機会をもち、感謝の心を学ぶ活動として位置づけます。

E 自他を大切にできる感性をもった生徒を育てるために

- ① 人権教育……多様な人々との出会いから学び、「違いが豊かさに」を学校の軸に据えます。
 - ② 道徳教育……人との出会いを通して心を耕し、『よりよく生きる』ことを追求する生徒を育てます。
 - ③ 生徒指導……集団の一員としての自覚を高め、「いじめ」のない集団生活を送れる生徒を育てます。
 - ④ 特別支援教育……生徒の実態と保護者の願いをふまえ、特別支援学級生徒がなかまと支え合う関係の中で安心して学べる環境づくりに努めます。
 - ⑤ 朝読の継続と読書活動の推奨……図書委員会活動の活性化を図り、学校司書との連携を深めます。
 - ⑥ ボランティア活動の継続……部活動等での地域行事参加を検討します。
 - ⑦ 食育の充実……「食に関する指導の全体計画」に基づき食育を進めるとともに、給食を大切にできる生徒を育てます。
- 自他を大切にできる感性をもった生徒を育てるために、①～⑦の教育や活動に取り組みます。

F 地域との連携

- ① 教科（ゲストティーチャー）
例）音楽…邦楽指導、家庭…保育分野
 - ② 職場体験学習（学校周辺事業所）
 - ③ 特別支援学級及びボランティア部による菜園活動（地域ボランティア）
 - ④ 生徒会花苗植替活動（石見自治会フラワーチーム）
 - ⑤ あいさつ運動（磯城地区保護司会他）
 - ⑥ 地域美化ボランティア活動（川西町、三宅町）
 - ⑦ PTA行事、地域行事への協働・参加
- ①～⑦の学習や活動を工夫・充実させ、保護者・地域の信頼と協力を得、協働して学校運営にあたる体制を整えます。

H 評価

- ① 学校評価から学校改善へのヒントを得、謙虚に受け止め、次の取組に生かします。
- ② 日々の課題の積み上げを重視し、やる気を引き出す評価のあり方を学び合います。

I 自己研鑽

- ① 教育相談の視点を重んじ、生徒との信頼関係を第一に考え、悩みや不安を受け止め、導く教職員であるための自己研鑽に励みます。
生徒の可能性を信じ、努力を認め、励まし、よりよい方向に導く教師を目指して研鑽を積んでいきます。
- ② 全教職員が、自己の取組とこのスクールビジョンを関連づけ、PDCAサイクルを生かし、目標達成と授業改善、学校改善につなげます。

式下の特色

